

1号議員の当選人が決定

2025年度議員改選

当商工会議所の2025年度議員改選に伴う1号議員選挙は、立候補者が定数と同数の70人であったため、議員選挙・選任規約第26条に基づき、10月24日の投票選挙は実施せず、同日開催の選挙会において立候補者を1号議員当選人とすることを決定した。

これにより、3号議員（21人）並びに2号議員（49人）と合わせ、今年度議員改選に伴う議員140人がすべて決定した。

新議員の任期は、2025年11月1日から2028年10月31日まで。

1号議員当選人（計70人、部会別、社名50音順、○は新議員）

小売商業部会（6人）

○ ㈱カミネ
神戸菊水㈱
神戸トヨペット㈱
櫻正宗㈱
生活協同組合コープこうべ
㈱老祥記

卸売商業部会（7人）

㈱イナハラ
エム・シーシー食品㈱
㈱神戸マツダ
神果神戸青果㈱
兵庫トヨタ自動車㈱
広瀬化学薬品㈱
㈱マニックス

生活産業部会（11人）

㈱イズム
○ 菊正宗酒造㈱
剣菱酒造㈱
ゴンチャロフ製菓㈱
○ ㈱サザンモール六甲
沢の鶴㈱
㈱ドンク
白鶴酒造㈱
㈱ファミリア
フジッコ㈱
○ ㈱ユーハイム

化学部会（6人）

石原ケミカル㈱
小泉製麻㈱
日本香料薬品㈱
㈱ノザワ
ハニー化成㈱
㈱MORESCO

機械・エネルギー部会（9人）

㈱コベルコE&M
㈱シマブンコーポレーション
TOA㈱
㈱デンソーテン
トーカロ㈱
ナブテスコ㈱
日清銅業㈱
阪神内燃機工業㈱
○ ㈱山本電機製作所

貿易部会（9人）

石光商事㈱
㈱大月真珠
○ クラウン貿易㈱
○ サンナツ食品㈱
田嶋㈱
長田通商㈱
富永貿易㈱
三ツ星貿易㈱
㈱茂久田商会

金融・専門サービス部会（4人）

あいおいニッセイ同和損害保険㈱神戸支店
大同生命保険㈱神戸支社
TC神鋼不動産㈱
㈱三菱UFJ銀行神戸支店

建設部会（8人）

㈱大木工務店
㈱カデックス
窪田工業㈱
三神工業㈱
橋本建設㈱
湊建設工業㈱
㈱明和工務店
㈱山本設計

海運港湾部会（4人）

川西倉庫㈱
㈱神和
早駒運輸㈱
三輪運輸工業㈱

交通観光部会（6人）

神戸電鉄㈱
㈱JTB神戸支店
神姫バス㈱
日本通運㈱神戸支店
阪急電鉄㈱
㈱ホテルニューアワジ神戸
神戸ペイシェラトンホテル&タワーズ

令和8年度 神戸市政に対する要望書を提出

中小企業の事業継続やビジネス変革への支援、神戸空港国際化への対応強化を要望

当商工会議所は、「令和8年度神戸市政に対する要望」を取りまとめ、9月22日、川崎会頭より久元市長、菅野市会議長らに要望書を提出した。

神戸市政に対する要望活動は、次年度の神戸市の施策や予算措置に商工会議所の意見を反映させるため、毎年実施している。

今回は、長期にわたる物価高の影響や深刻な人手不足といった経営上の障壁を乗り越えるための「中小企業の事業継続・ビジネス変革への支援」を

筆頭に、神戸空港の国際化や大阪・関西万博の開催で増加するインバウンド需要を取り込むための「新たな国際都市・神戸の実現に向けた施策」「神戸経済の発展を担う次世代産業の育成」など、全24項目を要望した。

要望の席上、川崎会頭は、ポスト万博に向けたまちの賑わい創出のために、観光やMICE、ビジネスを通じた交流人口の拡大に官民一体で取り組む必要性を強調した。

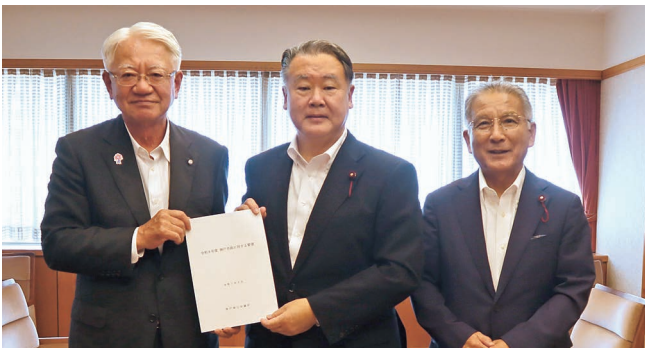
久元市長は、「2030年の神戸空港

国際定期便就航を見据え、建設中のバスターミナルや市役所2号館、JR三ノ宮新駅ビルなど都心再整備が進む中で国際都市としての魅力を高めていく」と応じ、都心部の回遊性向上や周辺自治体とも連携した広域観光推進への意欲が示された。

当商工会議所では、本要望を足掛かりとして、神戸経済の飛躍に向けた令和8年度施策の実現を引き続き働きかけていく。



久元市長（左）に要望書を手交する川崎会頭



菅野議長（中央）、川内副議長（右）に要望

要望事項

1. 中小企業のビジネス変革・新事業展開支援

- ビジネス変革・事業再構築への支援
- 中小企業のデジタル化・DX推進、セキュリティ対策強化に向けた支援
- スタートアップなどとの連携を通じたイノベーション創出支援
- 中小企業の販路開拓・国内や海外ビジネス拡大に向けた支援
- 中小企業の脱炭素化・カーボンニュートラル実現に向けた支援

2. 中小企業の事業継続に向けた持続的支援

- 原材料高騰やコストアップの影響を受ける中小企業などへの支援強化
- 多様な人材の確保に向けた支援
- 円滑な事業承継支援
- 地域商業の活性化に向けた支援

3. 神戸空港国際化への対応

- 神戸空港の利用促進・プロモーション強化
- 神戸空港の規制緩和・撤廃に向けた働きかけ強化
- 2030年前後の国際定期便就航に向けたターミナルの機能強化
- 時間軸・需要を見据えた南北アクセスの強化

4. 都市基盤の整備

- MICE誘致強化による神戸の都市価値の向上とポートアイランドの活性化
- 都心・三宮の再整備加速化
- 神戸港の国際競争力強化と安心・安全・魅力あるみなとづくりの推進
- 道路ネットワークの早期整備

5. まちの賑わい創出

- 神戸固有の自然資産などを活用した観光振興
- 「新しい国際都市 神戸」に向けたインバウンド誘客促進支援
- スポーツを核としたまちの魅力創造

6. 神戸経済の次代を担う産業育成

- 地域経済を牽引するスタートアップ支援と次期エコシステムの実現
- 神戸医療産業都市の産業化推進
- 神戸のポテンシャルを活かした外資系企業・関連産業の誘致強化
- 生活文化産業の振興

8.7
9.3

留学生や専門家の視点から魅せ方を学ぶ

インバウンド戦略セミナー

国際ビジネス委員会は、大阪・関西万博の開催や神戸空港の国際化を機に増加するインバウンド需要を企業が戦略的に取り込むため、インバウンドプロモーションの専門家である(株)エースキューブ インバウンド研究所長の劉賞美氏を講師に迎え、シリーズセミナーを開催した。

第1回は、(一社)大学コンソーシアムひょうご神戸の協力のもと、外国人留学生約20名を会場に招き、インタビューや座談会を通じて、外国人が思う日本や神戸の魅力、情報

源や言語対応、接客をはじめとする店舗の改善点など、参加企業に対して新たな視座を提供した。

第2回は、実践型のワークショップを実施。グループディスカッションでインバウンド対策を議論した後、グループの代表者が発表。講師からその場でアドバイスを行い、企業の独自性や日本ならではのPRポイントのアピール、外国人の心に響かせる工夫の重要性を訴えた。



産業部国際チーム

9.11

税関行政の動向を聞く

海運港湾部会 講演会



海運港湾部会は、神戸税関長の馬場義郎氏を講師に迎え、「最近の税関行政」をテーマに講演会を開催した。

馬場氏は、昨今急増する輸入貨物への税関としての対応、不正薬物や経済安全保障上の脅威に対する厳しい水際取締りの現状など税関行政全般の動きについて説明した。

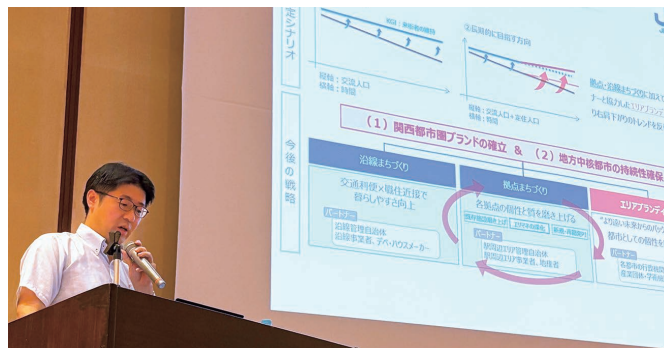
神戸空港の国際化を機に入国者数の増加が見込まれる中、空港利用時の税関手続きの電子申告を推奨することで、空港利用者にとって使いやすい空港にしていきたいと抱負を語った。

地域政策部

9.11

三宮駅周辺開発の現況と将来展望を知る

生活産業部会 講演会



生活産業部会は、西日本旅客鉄道(株)地域まちづくり本部課長の網田将志氏を講師に迎え、同社が取り組む関西の再開発プロジェクトをテーマに講演会を開催した。

網田氏は、「鉄道沿線におけるまちづくりには、エリアブランディングの考え方で、都市の個性を際立たせることが重要」と指摘。その上で、「JR三ノ宮新駅ビルは、シームレスな移動手段による交通結節点機能と、港町・神戸の玄関口に相応しい、賑わい創出機能を備えた空間を目指している。ソフト・ハード両面からエリアの価値向上を実現したい」と強調した。

産業部産業振興チーム

9.12

建設業界の人手不足対策を学ぶ

建設部会 講演会



建設部会は、クラフトバンク総研研究員の崎原永智氏を講師に迎え、「データと事例で考える神戸の建設会社の人手不足とDX」をテーマに講演会を開催した。

崎原氏は、同社が分析する兵庫県内の建設業界の現状とともに、人材採用のための情報発信の重要性や求人媒体の有効な活用法について解説した。

また、変化に対応できないままでは顧客と人材が離れていく恐れがあるとし、同社が手掛ける支援事例を踏まえて、建設業界におけるDX導入のノウハウを紹介した。

地域政策部

9.16

神戸の街と空港の可能性を探る

交通観光部会 講演会



交通観光部会は、(株)大韓航空西日本支店長の河谷成次氏を講師に迎え、「大韓航空から見た神戸の街と空港のポテンシャル」をテーマに講演会を開催した。

河谷氏は、本年4月以降、神戸空港で毎日2便運航する国際チャーター便の順調な利用状況を説明し、神戸空港の潜在需要の高さを強調した。

また、「訪日韓国人のうち個人旅行が85%を占め、酒や温泉、ゴルフ、登山などに関心を持つ。神戸以西を含め兵庫県内各地の魅力を積極的にPRしていく」と語り、地元観光施設などと連携した取り組みを紹介した。

地域政策部

9.16

サイバーセキュリティ対策を学ぶ

金融・専門サービス、化学部会 講演会



金融・専門サービス部会と化学部会は、立命館大学情報理工学部教授の上原哲太郎氏を講師に迎え、「弱い企業から順に狙われるサイバー攻撃の脅威」をテーマに講演会を開催した。

上原氏は、「近年、中小企業を狙ったサイバー攻撃が増加している。被害に遭うことを前提に、事業継続計画(BCP)にICT-BCPも加えて対策をすべき」と強調した。また、セキュリティ対策は、経営者が責任をもって進め、IT人材の育成やDX導入に取り組むことが重要と語った。

総務部経理チーム・産業部産業振興チーム

9.17

老舗企業の知恵に学ぶ

小売商業部会、貿易部会 講演会



小売商業部会と貿易部会は、(株)老祥記代表取締役の曹英生氏を講師に迎え、講演会を開催した。

曹氏は、老祥記が創業以来、大切にしていることとして、あえてメニューや販路を絞り込むこと、豚まん専門店としての「一品ド迫力」へのこだわり、多店舗展開せず本店のみで生産する「静の店づくり」を紹介。また、利益よりも道義・義理を優先する先義後利の精神で、春節祭などのイベントを通じて地域全体を盛り上げる「動の町づくり」への想いを語った。講演後は交流会を実施し、名物の豚まんを味わいながら会員間の親睦を深めた。

会員事業部事業推進チーム

9.18 カーボンニュートラルに向けた 国内外の動向を知る

機械・エネルギー部会 講演会



機械・エネルギー部会は、(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)イノベーション戦略センターユニット長の原重樹氏とフロンティア部主事の朝川真樹氏を講師に迎え、「国内外のエネルギー政策とNEDOの取り組み」をテーマに講演会を開催した。

原氏と朝川氏は、地熱発電や天然水素などの創出技術のほか、貯蔵・輸送・駆動技術など日本が目指すべき持続可能なエネルギー技術について解説。また、シーズの発掘・育成から社会実装・実用化に至るまで幅広い支援策を講じるNEDOの取り組みを紹介した。

地域政策部

9.19 女性が働きやすい職場づくりを学ぶ

卸売商業部会 講演会



卸売商業部会は、甲南大学経営学部教授の奥野明子氏を講師に迎え、「誰もが活躍できる強い会社づくり」をテーマに講演会を開催した。

奥野氏は、育児や介護と仕事の両立が求められる“ケア労働者”の増加を背景に、多様性(Diversity)、公平性(Equity)、包摂(Inclusion)を重視する「DE&I経営」の重要性を解説。業務の標準化による休暇取得の促進や欠員を補う従業員への特別手当の導入といった事例を紹介するとともに、若者から支持される企業体質への変革をトップダウンで進めることの必要性を強調した。

中小企業振興部振興チーム

9.20 “前よりも良い未来を描く復興”の 理念を継承

創造的復興サミット



阪神・淡路大震災から30年を迎え、地震などで被害があった国内外の関係者が集まり、復興の理念や災害の備えを議論する会議「創造的復興サミット」が兵庫県の主催で開催された。

出席した川崎会頭は、大きな被害を受けた震災当時を振り返りつつ、「災害前よりも良い未来を描く復興が“創造的復興”の理念だとすれば、今後は観光やMICE、ビジネスなどを通じた交流人口の拡大に取り組むことが重要。そのためには神戸空港の利用推進が不可欠」と話した。

会議では、災害の経験と教訓を世代や地域を超えて継承、発信していく決意を込め「ひょうご宣言」を採択した。

総務部総務チーム

9.22 트럼프政策と日本経済の 今後について学ぶ

情報・サービス文化部会 講演会



情報・サービス文化部会は、(株)第一生命経済研究所首席エコノミストの熊野英生氏を講師に迎え、講演会を開催した。熊野氏は、米国トランプ関税の影響は限定的としつつ、80兆円の対米投資枠など不安要素もあると指摘。物価高については円安の影響が大きく、賃金上昇が追いつかず消費が停滞していると分析した。

また、中小企業にとってIT化やDX推進は重要である一方、ネット広告や宅配業など周辺分野の業種が成長している点に着目し、「広い視野で新たなビジネスチャンスを探してほしい」と呼びかけた。

中小企業振興部